パーソナルAI時代のPC進化とエッジI戦略

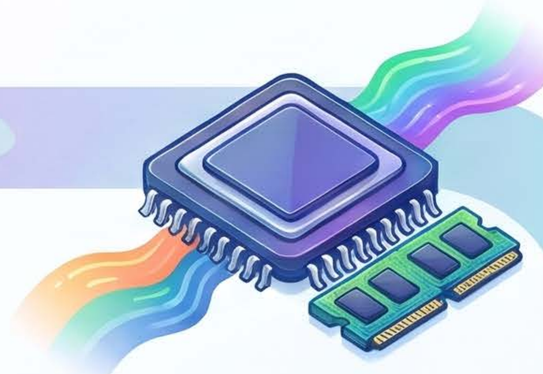
AIエージェントの普及と統合メモリなどのシリコン技術の進化により、PCは単なる作業ツールから「パーソナル・インテリジェンス」へと変貌しています。トークンコストの削減やデータ主権の確保に向け、クラウド依存からオンデバイス・オンプレミスを含むハイブリッド構成への移行が進みます。

AIエージェント時代のPCとシリコン進化



1ユーザー+複数エージェント

今後のPCは1人の人間と10以上のAIエージェントが同時協調して動作する場となります。



統合メモリとローカル処理

128GB統合メモリ等の進化によりデータセンター級モデルのローカル実行を実現します。



ローカル比率50%への移行

従来のクラウド依存から、数年以内にローカルとクラウドの負荷は50:50へ移行します。

ローカルAIがもたらす経済性とセキュリティ



最大1,300ドルの価値創出

クラウドトークン費用を抑え、高度タスクで1ユーザー最大1,300ドルの削減効果を生みます。



データ主権とエンドポイント防衛

社外に機密を出さず処理し、BIOSレベルの防御膜でAIエージェントの挙動を統制します。



3層のハイブリッドAI環境

オンデバイス、オンプレミス、クラウドを用途と予算に応じて最適に使い分けます。

Gemini Notebook